

「校則（通学靴・靴下）の見直し」について

令和7年3月13日

宇美中学校生徒指導部

校則見直しの意義

- ①自分たちで考え、決めたことに責任をもって守る力を身に付けるため。
- ②様々な場面に応じて、どのような選択がふさわしいのかを考え、行動に移す力を身に付けるため。
- ③決まりやルールを守る大切さについて考え、今の時代の流れに対応する力を身に付けるため。

今（R6年度）の通学靴・靴下に関する校則

通学靴について 生徒手帳P21より

（1）通学靴

男女とも白を基調とした靴を着用する。靴ひもは白にする。

（ハイカットは不可）

（3）靴下

白色のものを着用し、ワンポイントまで（ライン不可）にする。

くるぶしが完全にかくれるものを着用する。（ルーズソックス不可）



通学靴・靴下に関する**新しい**校則 令和7年度4月～

宇美中学校生として、安全で学習に支障のない通学靴・靴下を着用する。

登下校や体育の時間、避難時に着用して、機能面と安全面で困らないものにする。

冠婚葬祭や儀式的行事、高校入試などを意識し、場に応じて自己選択をする。

（1）通学靴・靴下

色は、白・黒・紺・グレーとする。

（2）上靴

学年毎に指定された色のものを着用する。名前をかかとに書く。

（上記のような見直し案になった理由）

以前、校則に関するアンケートをとりました。その中に「通学靴・靴下」についての項目がありました。「白の通学靴や靴下は汚れが目立つので、白以外も可能にしたほうが良いと思う。」「くるぶしソックスも許可して欲しい。」「靴や靴下は勉強等に支障がないから、落ち着いた色や黒色なども許可して欲しい。」などの意見がありました。これらの意見を踏まえ第79代生徒会役員では、通学靴・靴下について上記のような校則の見直し案を作成しました。

この案には、宇美中学校生として、学校生活の様々な場面を想定し、どのような靴や靴下を履いてくることが適切かを考え、自己選択し、行動に移して欲しいという思いが込められています。